

—— Japio 知的財産セミナー ——

「AI を活用したデザインの創作と法的保護」のご案内

●**弁理士の方へ**：この講座は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。
この講座を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として2.5単位が認められる予定です。

主催：一般財団法人日本特許情報機構（Japio）
協賛：一般社団法人日本食品・バイオ知的財産権センター（JAFBIC）
一般社団法人日本国際知的財産保護協会（AIPPI・JAPAN）

近年様々な分野で人工知能（AI）が活用されています。知的財産の世界を見てもAIを活用して特許のクレームや明細書を生成することができ、また製品のデザイン等をAIを使って制作することも行われつつあります。今後、AIを活用することで、ますます生産性の向上が期待されます。

本セミナーでは、AIを活用したパッケージデザインの創作と評価等を手掛ける株式会社プラグの小川社長に、そのAI活用デザイン創作・評価システムの開発や企業での導入事例等をご紹介いただくとともに、九州大学芸術工学研究院の麻生准教授に、AIを使って創作した成果物やAI学習に利用される創作物等の法的保護についてご解説いただきます。

また、ビジネスにおけるAI活用によるデザイン創作の現場におられる小川氏と、知的財産法の研究の立場におられる麻生氏、両氏に、今後の創作活動におけるAIの活用の展望と課題について幅広いご議論をいただきます。ご多忙とは存じますが、ご受講いただきますようご案内申し上げます。

記

- **日時**：2024年2月9日（金）13:00～16:00
- **開催形式**：オンライン（Zoom Webinars）による開催
- **講師**：株式会社プラグ 代表取締役社長
（公益社団法人日本パッケージデザイン協会 理事長） 小川 亮 氏
九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授 麻生 典 氏
- **受講料**：11,000円（消費税込み）／1名

※当財団の賛助会員、本セミナーの協賛団体会員の方は、割引適用により下記受講料を申し受けます。

割引適用後価格	賛助会員（意匠・正会員）	5,500円
（消費税込み）	賛助会員（意匠・特許事務所等）	7,700円
	賛助会員（個人）・協賛団体会員	8,800円

Zoom Webinars による講演

本セミナーの受講には、受講者の責任において、受講に必要なコンピュータ、利用環境、通信機器、通信回線、その他設備をご用意ください。また、複数人での聴講、録音・録画等は禁止させていただきます。

お申し込み方法

お申し込みは、当財団（Japio）ホームページ(<https://japio.or.jp/service/serviceS1.html>)の申込フォーム（EXCEL ファイル）に受講者の所属、氏名、メールアドレス等所定の事項をご記入いただき、個人情報の取扱いについてご同意の上、下記セミナー事務局までメールにてお送りください。

お問合せ先

（一財）日本特許情報機構 セミナー事務局 E-mail: seminar-d@japio.or.jp 電話: 03-3615-5530

Program

12:30 開場（接続）

13:00 「AIを活用したパッケージデザインの創作と評価

～ 生成AIはパッケージデザインをどう変えるか？ ～」（50分 質疑含む）

株式会社プラグ 代表取締役社長

小川 亮 氏

（公益社団法人 日本パッケージデザイン協会 理事長）

2021年より登場した生成AIは今デザイン制作のあり方を大きく変えようとしています。2022年9月には伊藤園からパッケージデザイン開発に生成AIを活用した「おーいお茶」が発売されました。今回はこの事例をご紹介しますながら具体的に生成AIがどのようにデザイン開発を変えていくのか、またデザインを作る立場から、新しい知的財産のあり方を考えたいと思います。

13:50 休憩（10分）

14:00 「AIによるデザイン生成と法的保護」（50分 質疑含む）

九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授

麻生 典 氏

近年のAIは人間の創作に近いものを作れるようになった。そうすると、いずれ（既にそうなのかもしれないが）AIが生成したもの（生成物）は人間が創作したものと全く区別がつかなくなる。では、そうしたAIによるデザインの生成について、現状どのような点が議論されているのか。AIが生成したデザイン等の知的創作物は知的財産法の保護対象となるのか。保護対象とならないとしたら、立法によって保護を図るべきなのか。本講演ではそれらの議論の現状を概観する。

14:50 休憩（10分）

15:00 トークセッション 「デザインにおけるAIの活用と課題」（60分 質疑含む）

小川 亮 氏 × 麻生 典 氏

デザイン創作におけるAIの活用の現場的な立場である小川氏と、知的財産法の研究をされている立場である麻生氏に、デザインにおけるAIの活用と課題について議論いただきます。

16:00 閉講

Profile



小川 亮 氏

Makoto Ogawa

株式会社プラグ 代表取締役

慶應義塾大学環境情報学部卒業後、
キッコーマンを経て、慶應ビジネススクール
でMBA（経営学修士）を取得
経営管理博士

早稲田大学マーケティング・コミュニケーション研究所招聘研究員
明治大学ビジネススクールデザインシンキング兼任講師
（公益社団法人）日本パッケージデザイン協会理事長
（一般社団法人）日本マーケティング・リサーチ協会理事



麻生 典 氏

Aso Tsukasa

九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授

1983年生まれ。
2012年 慶應義塾大学大学院法学研究科民事
法学専攻後期博士課程単位取得退学
2013年 博士（法学）（慶應義塾大学）

主な論文

- 「AI生成物と知的財産法」特許研究 74号(2022年) 45-59頁
- 「画像デザイン」茶園＝上野編著『デザイン保護法』
（勤草書房、2022年）171-201頁
- 「意匠法改正と比較法」日本工業所有権法学会年報 43号
（2020年）120-138頁